

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・佐賀城下ひな祭りが開催されている。上旬は天候が不順で出足が少なかったが、今は順調に増えている。佐賀市の中心部という限られた範囲内で客が回っているが、やや良い。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・買上点数、単価が上がっている。客数はそう大きく増えてはいないが、売上が2けた増となっている。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・今月に入り曇天・雨天の日が少なく、春模様も感じられ、客の購買意欲が増してきたことにより、客数が増加している。雛祭り商材、春野菜、春鰹、新生活商材等の季節商材の動きが良い。ただし、桜の開花が例年よりも遅く、月末の行楽商材の動きは若干鈍くなっている。
		家電量販店（企 画担当）	単価の動き	・最近単価の高い物、液晶テレビ、新製品のDVD、新しい洗濯機等の需要が出てきているので、全体的に良くなっている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・契約件数は、決算ということで多くなっているが、利益が伴っていない。
		乗用車販売店 （管理担当）	来客数の動き	・土日に新車や自動車整備のイベントを開催しているが、確実に客数が増えている。特に整備等が増えている。
		その他専門店 〔医薬品〕（従 業員）	お客様の様子	・2月に続き寒さが続いたため、風邪薬等の季節商品が売れた。また、花粉症の客が昨年に比べて多く、関連の商品がよく売れている。
		旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・春休みの動きは昨年を上回る。特に国内の東京、名古屋、関西、近場の温泉が目立つ。桜ツアーは昨年より開花が遅く4月が中心になりそうだ。
		タクシー運転手	お客様の様子	・景気が悪い中で生活のパターンが少しずつ変わってきたと思われるが、若干人の動きが出てきて、少しずつ流れが出来てきたので良くなってきた。
	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・展示場への来場数、土地の販売量等が良くなっている。	
	変わらない	商店街（代表 者）	販売量の動き	・高額商品の数はそこそこ出るが、単価も販売量も上がってこない。
		商店街（組合職 員）	来客数の動き	・2月中旬から3月上旬まで恒例の春のイベントが行われた。市内、県外から多数の観光客が訪れ、商店街は活気があった。それぞれの商店街で独自の接待、サービスを行っていたが好評で、ソフト面で商店街の良さをアピールできていた。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・中旬から暖かくなり人も増えてきたが、近くの店がまた閉店するなど、良い面と悪い面が半々である。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・フレッシュマンセールで新入学、卒業のヤング層が例年なら買いに来るが、今年は動きが少なく、商店街の来街客が少ない。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・商店街には若い層の客がほとんどなく、どちらかといえば高齢者や近隣に住む客が多く、自分の体調、天候等に合わせて出てくる。今月は雨の日が多かったのも、人も少なかった。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・今の時期、陽気が良くなってくると人の動きも良くなり、購買量も増えるが、福岡県西方沖地震でそれが止まってしまい、非常に悪い状況になっている。
		一般小売店〔青 果〕（店長）	単価の動き	・単価の高い果物の動きがここ3か月かなり鈍くなっている。買い控えが如実に出ている。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・福岡市天神地区では、先月の新地下鉄開通や新地下街開業に伴う効果で消費は上向いていたが、福岡県西方沖地震により、3月後半の消費マインドは冷え込んだ。
百貨店（販売促 進担当）		それ以外	・食料品・飲食に関しては売上が前年をキープしているが、衣料品が年々落ちている。	
百貨店（営業企 画担当）		販売量の動き	・昨年の福岡大型店の出店の影響などの反動で好転の兆しはあるものの、3月の気温の低下、福岡県西方沖地震などの影響で、伸び悩みの状況が続いている。	

百貨店（業務担当）	来客数の動き	・入店客数がおもわしくない。特に週末の家族連れを含めた入店客数が減っている。	
スーパー（経営者）	単価の動き	・必要な物以外は買わなくなり、客単価も減っている。しかし必要なものは高くても買っている。	
スーパー（店長）	販売量の動き	・先月は営業日が1日少なかったにも関わらず、特に衣料品等が月末に向かって良くなった。しかし今月は天候に影響されたのか、春物の動きが非常に悪く、特に子供服、婦人等の分野で落ち込みが厳しかった。	
スーパー（店長）	販売量の動き	・前年は総額表示の影響で買い控えが起こり、購買点数も下がったが、今年はもっと点数が落ちている。	
スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価が今月に入って若干低めに推移している。全体的な消費マインドの低下傾向が見られる。特に衣料品についてはその傾向がみられる。	
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・買上点数が減少しているほか、割引商品の売行きが好調であり、客単価下落の要因となっている。	
コンビニ（店長）	来客数の動き	・今年は天候不順で修学旅行等のまとまった客が自重しているのか、厳しかった。	
コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店向け商品は前年比11%減、コンビニ向けは同3.9%減、ローカルスーパー向けは同3.6%増となった。土日等の充填特売で買上点数は上がるが、客単価は下がっているというのが現状である。また、ローカルスーパーにおいては地域重視の地道な努力が数字として現れている。	
衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・3月に入っても春らしい日があまりなく、寒い気候が続いたため、春物衣料の動きが活発化しなかった。福岡県西方沖地震の影響もあり、客数が伸び悩んだ。月末になってようやく春物が動き出した。	
衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・例年3月は春の創業祭を開催しているが、客数が6%減少している。売上もそれに比例して4%減となった。催事バーゲン会場は、例年はめぼしい商品の取り合いになるが、今年はそう混乱する気配がない。	
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・年間最大需要期ということもあり、販売量は増えているが、1年前と比べるとやや低下している。	
その他専門店〔書籍〕（店長）	お客様の様子	・来店者は多くなっているが、客単価が下がっている。将来への不安が大きく影響している。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・3月は寒さが遅くまで残り、灯油が好調である。3月も元売仕入価格が上昇し、小売価格に転嫁せざるえない状況だったが、売上数量はさほど減少していない。	
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・下旬こそ送別会が増え、少し団体が入ったことで少し盛り返したが、上旬や中旬は客数が伸びず苦戦した。	
タクシー運転手	お客様の様子	・上旬は人の動きが悪かったが、月末にかけて歓送迎会等で少し増えた。	
タクシー運転手	来客数の動き	・日中の乗り込みは以前とあまり変わらないが、歓送迎会があるせいか、夕方からの決まった時間帯で車が少し足りないような状態のときがある。夜はよく車が動くようになった。	
観光名所（職員）	来客数の動き	・ゴルフ場については客数が前年比30%減で、天候のせいかなりの落ち込みである。全体的にゴルフ人口が減っており、当社だけではなく他でも同じ傾向である。	
ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・プレーヤーが安いプレー日を選択しているほか、コンペも減少している。	
美容室（店長）	来客数の動き	・結婚式や旅行等、必要に迫られての来店が多く、カット、パーマの来店周期が長くなった。カラーリングも自分でするという人が多くなった。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・県内でも地域差があり、都市部は多少動きがある。	
やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・3月は気温も低く推移し、衣料品が動きにくい状況ではあったが、昨年好調であったコートも動きが悪く、スーツも商品のバリエーションが少ないため、売上に貢献していない。

	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・昨年の新幹線景気の反動でプロパー商材の伸びを期待したが、バーゲンの比重が増加した。また、不安定な気候と福岡県西方沖地震の影響で春物の動きが鈍り、購買意欲が減退している。
	百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・競走相手の回りの商店街で、撤退した店が3月だけで13店あり、中心街の冷え込みが厳しい。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・昨年の百貨店新館オープン等のような華やかなトピックが無いため、明らかに来客数が落ち込んでいる。催事で客が多くなる事はあるが、その催事のみ集客・売上で、催事以外の場所への集客・売上というシャワー効果が全く見込めない状況である。加えて福岡県西方沖地震があった3月20日以降の来店客数がやはり落ち込んでいる。目立って大きいものではないが、徐々に落ち込んできている。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月は上旬がかなり天候が悪く、中旬も気温が上がらず苦戦し、下旬になってようやく上がってきた。最終的には前年比95%程度で推移しそうである。品目別では、婦人衣料が中旬以降に若干動きが出ているほか、雑貨も前年をクリアしている。一方、紳士衣料、身回品は前年の90%程度とかなり苦戦している。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・売場の商品が春物に変わったかと思えば寒くなったりして、商品と気温がなかなかマッチしない。また、大分県はさほど福岡県西方沖地震の被害はなかったが、購買ムードは盛り上がらなかった。
	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・福岡県西方沖地震の発生により、特に都市部の客の販売額が一時的に落ち込んでいる。
	高級レストラン（専務）	来客数の動き	・客数、売上等が昨年に比べ減っている。万博の影響や各地域の景気の変動がかなり響いている。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・福岡では愛知のような大型イベントもなく、春休みの予約も入っていない。また、余震を警戒して、主に関東周辺からの宿泊予約のキャンセルが目立つ。実際ホテルも福岡県西方沖地震の影響を受けており、修復の間、来客数の減少は否めない。
悪くなっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・消費に福岡県西方沖地震の影響が相当出ている。発生後1週間は客足が遠のいているほか、高額品が売れていない。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・競争店が次々に安売りをしたことで、来客数が昨年より8%減となり、大変厳しい状況が続いている。
企業動向関連	良く なっている やや良くなっている		
	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年度末でもあり、官公庁、民間からの受注が共に活発である。福岡県西方沖地震の影響で工事が延期された現場もあったが、受注減はなかった。
	窯業・土石製品製造業（取締役）	競争相手の様子	・同業者の業績から判断すると、メーカーは少しずつ良くなっている。
変わらない	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月に入り、急に荷動きが良くなってきた。しかし、福岡県西方沖地震により港湾地区の倉庫業は打撃を受けたため、大阪や中部地方等の他の倉庫からの出荷となる等、一時的な大打撃を受けている。
	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月は異動時期で大きな期待をしていた。季節外れの雪で前半はあまり伸びなかったが、後半は居酒屋向け等を含め伸びてきた。
やや悪くなっている	金融業（営業担当）	取引先の様子	・特に人材派遣業の売上が伸びておらず、現状維持のみである。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ギフトを含め単品が最も動かなくてはいけない時期であるが、今年は天候や災害の影響で、販売、受注関係がかつてない不測の事態である。
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・IT関連のメーカーからの仕事が劇的に減っており、我々中小企業にも先月くらいから少しずつ影響が出てきている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・卸の再編は以前からあったが、現在は酒類小売、量販店の再編が加速している。

	悪く なっている	繊維工業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・春物が店に出回ろうとしているこの時期に、受注量 がとにかく少なすぎるほか、追加生産も全くない。新聞 等で景気が少し回復しているようなことが書いてある が、それは中国等の海外の生産によるもので、国内 は全くない。
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の大手企業は全国的に動きが非常に鈍 く、数量的にも大きく減少しており、動きは全く不透明 である。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・オーダーベースで前年比40%増となっている。契約 更新、年度末需要を含んだものであり、単発でも同 10%増である。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数、就職者数が増加している。ただ懸念さ れるのは、事業所の採算面が依然厳しいということだ である。
		民間職業紹介機 関（支店長）	求職者数の動き	・求職者が「正社員」へ応募している影響から、人材派 遣会社への登録者数が前年比5%減である。有効求人 倍率の上昇は、派遣会社には登録者減となって現れて いる。
変わらない		求人情報誌製作 会社（編集者）	採用者数の動き	・年度末を迎え、人の採用が難しくなっている。 特にフリーター層の採用が一段と厳しい。昨年の大型 商業施設のオープンに引き続き、コールセンターの増 設などに伴う求人の活発化が影響している。また時給 単価も少し上がっている。
		新聞社 [求人広 告]（担当者）	周辺企業の様子	・自動車関連以外は動きが期待できない。
		職業安定所（職 員）	雇用形態の様子	・正社員に対する雇用需要が依然として少ない。
		職業安定所（職 員）	採用者数の動き	・景気が良くなってきて就職者数は増えているが、そ れに合わせて求人も業務請負業を中心に増えている。 求人の充足率が以前に比べ上がってきているほか、業 務請負業以外の他産業の採用意欲も高まっている。
	やや悪く なっている	-	-	-
	悪く なっている	-	-	-